

大桑 第262号

9月号

まさたか



栄区から横浜を変える！

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅で配っています！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

市議員6期目
よろしくお祈りします！

市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務活動費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

プラスチックごみの分別変更について

先日もお知らせしましたが、令和6年10月から横浜市内の栄区を含む9区が先行して、プラスチックごみの分別方法が変わります。ちなみに栄区以外の8区は、旭区、磯子区、泉区、金沢区、港南区、瀬谷区、戸塚区、中区です。

これは横浜市が排出している温室効果ガス(CO2)のうち、プラスチック由来のごみを焼却する時に多くの温室効果ガス(CO2)が発生しているからです。今後、栄区を含む9区の皆さんは先行してCO2削減のために、燃やすごみに含まれるプラスチックも分別して「プラスチック」として集積場に出していただくことになります。

くわしくは広報などで皆さんにお知らせすることになると思いますが「プラスチックのみでできている・一番長い辺が50センチ未満」などといった分別ルールがありますので、しっかりと確認をしていただきCO2削減にご協力をお願いします。

大桑新聞

プロフィール

大桑正貴(おおくわまさたか)

第262号(9月号)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0006 神奈川県横浜市栄区笠間2-20-7-102

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-884-4917

H P : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業/神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院修了

平成23年(2011年)4月 横浜市議員 3期目当選

平成27年(2015年)4月 横浜市議員 4期目当選

平成31年(2019年)4月 横浜市議員 5期目当選

令和 5年(2023年)4月 横浜市議員 6期目当選

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

7月分の収支報告(収入は政務活動費55万円/毎月)

令和6年度7月現在の政務活動費累計残高は**99,793円**です。

今月の支出の内訳

調査研究費	70,240円	資料作成費	0円
研修費	0円	資料購入費	3,500円
広報費	243,307円	人件費	0円
広聴費	0円	事務所費	180,902円
会議費	0円	事務費	14,668円

7月の支出合計は
512,617円です。

近況報告

令和6年第2回市会定例会ですが、令和6年6月5日(水)で閉会となりました。次の定例会である令和6年第3回市会定例会ですが、令和6年9月10日(火)から10月22日(火)までで開催される予定となっています。この定例会中には令和5年度の横浜市の決算についての特別委員会が開催され、おそらく私も質問をすることになると思いますので、改めてお知らせできればと思っております。

次に私の事務所についてですが、桂町から笠間に移動し、少しずつですが事務所に人がいる体制を取れるようにしております。しかし土日なども含め、1日中、事務所に人がいる体制をとることは難しいので、連絡をして頂いた時に不在の場合は、留守番電話へのメッセージ、またはFAXをお願いします。

最後に、私は栄区のことを中心に、横浜市で起きていることをお伝えしています。これは、私は「**知って頂くことが何よりも大切**」だと考えているからです。今後も、この考えをもとに大桑新聞を作成していきますので、よろしくをお願いします。

令和7年度に向けて

先月の大桑新聞でもお知らせしましたが、横浜市の借入金は約4億1,257万円となっており、私が横浜市議員になる前年である平成14年度の借入金ですが、約6億1,312万円でしたので、その頃と比べると約1億9,133万円減少しており毎年、少しずつかもしれませんが借入金は削減されています。

私は、横浜市議員になる前から過度な借入金は人口減少・少子高齢化などといった課題を考える上で「なるべく少なくするべき」と主張してきましたので、借入金の減少は良い方向だと感じています。一方、災害対策など将来を見ずえて上下水道の更新や耐震化を進めたり、施設などダウンサイジングや複合化を視野に入れつつ市営住宅(栄区では本郷台駅前など建設から50年以上たつものがあります)や横浜市立の学校などの公共施設を建て替えたり、道路や橋梁などの維持管理を横浜市が進めていくには、どうしてもお金がかかってしまいます。

そのような中、横浜市は山中市長になってから子育て施策に力を入れているため「小児医療の無償化」、「出産費用助成」(令和6年10月から9万円)などを決めていますので、今後、年間約50億円程度の財政負担となります。また、令和8年度からは中学校給食も始まりますので、これまでなかった財政負担が生じることになり、他の事業を見直す可能性も出てくると思います。

最後になりますが、横浜市は「あれもこれも」ではなく「あれかこれか」しかできなくなってきていますので、今の横浜市の状況を知って頂くようお願いします。



大桑新聞ではみなさまとともに、
栄区について考えていきたいと思っております。

HP : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp